

激社会運動の初歩的試みの一法を請ひ得る中主眼
點は協会の根本改造に在り佛協会と同一の國
旗のわきに掲つて述べた。

総同盟調査部 赤松 氏

労働者の自覚を叫び次は協同盟の歴史史
と現状とを簡単に報告し、労働運動の
前途輝遠ある旨を述べた。而して社会組織
の欠陥、産業強減の不合理、人格尊重の
主張等を叫び、最後に協同盟会運動に
依り無産階級者の解放せらる、旨を述べ
た。

午後四時五分同会者登壇して演説會閉會
の旨を述べ、満座起立労働歌を合唱し後、西松会
支部の萬歳を三唱して静穩裡に五時全
散會した。

官憲の取締

會場は所轄高崎警察署署長清水警視以下
正私服約二十名を以て内外を警戒した。殊に
警察署署内には署員全部を召集して予備
隊となし萬一のためは備へてありた。取締
に厳重を極め示威的の行動は一歩も許さ
ずおまに始終し全と靜穩裡に進行した。
支部九名員數